

【めむろ未来ミーティング】

令和4年10月21日(金)

10:30～11:30

芽室町公式 YouTube

チャンネルを活用した

オンライン未来ミーティング

■参加者 約30人(最大接続数)

※子育て支援センターでの開放オンライン参加者も含む

■芽室町 町長

■記録 松田

- 1 開会
- 2 手島町長あいさつ
・町長自己紹介
- 3 今回の未来ミーティングテーマの説明
- 4 意見交換

■対応等必要事項

赤字、下線部分については、対応を要する事項として、別途担当部署から対応報告書を提出します。

(今回の未来ミーティングのテーマ)

今回のテーマは、「芽室町での子育て」という設定です。前回までは、夜開催としていましたが、今回は「子育て」とテーマを絞っていることから、比較的家事が落ち着く午前中での開催としました。

芽室町は、子育て支援に力を入れている町と言われていますが、実際に育児中の方にとって、子育てしやすい環境となっているのかという事も含めて聴いていく機会としたいと思っています。

今日は子育て支援センターで開催されている赤ちゃん広場に来ているお母さんたちにも参加いただけることになっています。ぜひ普段聞けないことなど、

コメントをいただきたいと思います。

意見交換

(子育てに関する悩みや困り事を聞かせてください)

【ご意見①】

小さい子ども 2人を連れてのスーパーでの買い物は大変。少しの時間でも預かってもらえるシステムがあるとよい。

【手島町長】

行政としてできることは、タイミングや資源(預ける場所)とのマッチングだと思っている。預かる側の担い手の確保も必要。大型スーパーの考え方とも連携する必要がある。ちょっとした時間でもお子さんを預けるシステムがあると、育児に少し余裕が生まれることは十分に理解できる。まずは一つのご意見として伺い、行政として、そうしたマッチングできるシステムの企画なども検討していきたい。

今後は、そういったお子さんを預ける仕組みもデジタル化されていく時代となってくる。うまくデジタルを活用していくのが今後の行政の大きなポイントとなると思う。

【ご意見②】

芽室町は子育てに優しいまちという評価がありませんね。

【手島町長】

芽室町は、「農業のまち」「ゲートボール発祥のまち」と並んで、「子育てに優しいまち」とはっきりうたっている。前町長から子育て支援に力を入れてきた努力がそういった評価につながっていると理解している。

もうひとつは、子育てに関する建物や施設は民間事業者のものも含めて芽室町は非常に充実している。今後は、そこにプラスしてソフト面、具体的には担い手の確保やサービスの拡充というのが大事になって

くる。あとは制度やサービスの向上を子育て世代に
いかに繋げていくかが重要なポイントになる。引き
続き子育てについては強い想いをもって取り組んで
いきたい。

【ご意見③】

西小校区に通っている子がいるが、交通指導員に
立ってほしいと思う場所がある。配置の基準などは
あるのか。

※後日、以下のとおり場所の詳細の連絡あり
希望場所:西4条2丁目の成田商店交差点

【手島町長】

本当はすべての通学路に配置できればよいが、現
实的に難しい。優先度としては、大きな通り、危険度
が高い通り、児童生徒が多い通りとなる。ただご要
望のある場所が実態として優先度が高まれば、配置
を替えるということは十分にあり得る。ご要望やご
意見があれば具体的な場所について相談してもらい
たい。

(お子さんの遊び場所について意見を聞かせてください)

【ご意見④】

雨の日に遊べる場所が少ないように思う。帯広市
には民間でそういった施設があるが、町として招致
する考えはあるか。

【手島町長】

何かの施設を招致するという考え方というよりは、
町として特に冬場にお子さんが屋内で遊べる施設を
確保したいとは考えている。いま、まちなか再生の議
論を進めていて、まだ詳細なことまで言える段階で
はないが、少し中心市街地を広く考えたなかで、子ど
もの居場所・遊び場といったものを考えていきたい
と思っている。

遊具があってファミリー層が集まれる場所という

のは十勝管内でも増えている。そういう場所に人が
多く集まる傾向にあるというのも認識している。芽
室町内でも、遊具の新設や大きな公園を活用して子
育て世代に来ていただく、そんなことも考えていき
たい。町民の皆さんにも具体的な構想ができた段階
でお示ししていきたいと思っている。

【ご意見⑤】

町民が予約すると貸し切りできるようなスペース
があったらよい。

【手島町長】

これは整備したあとの運用のことになると思う。
十勝管内でも何か所かそういった施設があるような
ので、どういった工夫や運用をされているのか勉強
していきたいと思う。確かに団体で貸し切りできる
ようになると利用しやすいと思う。

【ご意見⑥】

ライジング跡地を活用して遊び場を作ってほしい。

【手島町長】

一つの選択肢としてはあるのかなと思う。ただし、
あの施設は町のものではなく、民間団体が所有して
いるもの。町で強制的にというわけにもいかない。
今後の良い活用方法を探しているということは聞いて
いる。遊び場という観点となると、現在まちが考え
ている構想のほうが早いという感じもしている。ライ
ジング跡地は、場所的にも集まりやすい位置だと
認識している。引き続き、民間団体との情報交換もし
ながら、検討していく。

【ご意見⑦】

町には、ファミリーサポートや一時預かりなどのシ

システムがあるが、もっと利用しやすいように広報などを使って周知してほしい。

【手島町長】

行政の役割として、個々それぞれの子育てに対して、いかに丁寧に情報提供していくのかというのが大事なところ。冊子だけでは、情報量はたくさんあるものの、自分にあったサービスを探すことは難しい。

芽室町は、管内でもかなり早い段階で、子育て支援課を立ち上げて、保健師などの専門職員を配置してきた。気軽に悩みなどを相談できるシステムづくりも取り組んではいるが、もっとサービスの存在をPRしていくことが必要と認識している。みなさんも積極的に悩みを発信してもらうことが、関わりスタートとなり色々なサービスに繋がっていくことになるので、ぜひ気軽に相談してほしい。

【ご意見⑧】

子育て支援センターは、お母さん同士のつながりもできて大変助かっている。職員さんがいなくてもこうして集まれる場所があったら良い。

【手島町長】

子育て時代の横の繋がりというのは非常に大事なものと捉えている。悩みや喜びを共有できるサロンのようなものは必要と考えている。いきなりそういう場所を作ればみなさん来てくれるのかというのも研究しなければならない。しかし、お母さん同士の居場所でもありお子さんの居場所でもあるそういった場をできるだけ多く設定してあげることが大事だと思う。

職員がいなくてもということ考えると、自発的に OGOB 会というもひとつの手法、仲の良いグループでの集まれる機会を作る、そういうお膳立てを町でしてあげるというのもひとつのやり方である。

実は高齢者の方々がそういう流れで町が場所だけを提供するというのもやっている。子育て世代にも同じようにできると思う。

【ご意見⑨】

スーパーでの買い物で、二人乗り用のカートがあるとすごく便利。町として導入支援できないものか。

【手島町長】

町内には大きなスーパーが 2 つある。町が支援するのか、スーパー側が整備するのか、それは分からないが、さっそく相談してみたいと思う。カートの置き場など、スーパー側にも事情があると思うが、早急に検討する。

【ご意見⑩】

屋内で遊べる施設に連れていくのに、町外に行くことが多い。町内にもそういった施設がほしい。

【手島町長】

先ほども話したが、官民ともに、そういった場所を確保するために努力したいと思っている。いろんなケースを考えていきたい。駐車場についても、ある程度面積が必要となるので、うまく土地を有効活用して確保しなければならない。そういったものを、一体的にいかにか整備していくかということを考えていって進めていきたい。

【ご意見⑪】

チャイルドシートを貸出ししてくれる施設に育児ネットなどがあるが、そういった場所の紹介をもっと積極的に行ってほしい。できれば、文字だけではなく映像・画像として発信してほしい。

【手島町長】

情報の発信の仕方として、文章でだけではなく、画像や映像を活用していく時代である。行政サービス全体が、できることからデジタル化に向けて進めていくという考え方である。そういった意味で子育て分野でもこういったことが大切。育児ネットのような

民間団体についても、単なる文書でない手法が大事になってくる。気軽にスマホから情報が得られる簡易なシステムが並行して必要だと考えている。

【ご意見⑫】

釧路に1分10円で預かってくれる託児所がある。そういったものが芽室町にあるとお母さんたちは助かるのでは。

【手島町長】

これまでも託児のシステムは町としても整備してきたが、時代の流れや状況に合わせてサービスの内容を変えていく必要はあると思っている。だから、実際の子育て中の生の声というが必要。

【ご意見⑬】

町内会と子ども会が別々に動いている。子ども会での廃品回収などもあり、役員のなり手不足など負担感が増している。

【手島町長】

町内会の加入率自体が非常に低くなっている。町内会は任意の団体。行政で強制的に色々できない実情がある。ただ地域コミュニティや災害時での近所の連携を考えると、町内会も子ども会もとても重要な組織と考えている。町内会全体を今後どうしていくかというのは重要なこと。町内会と子ども会の2つの組織が一体的にやっていくのが理想的。これは、どちらかという町内会ごとに考えていただきたい部分でもある。町は、市街地町内会連合会や単位町内会と連携している。せっかく頂いた意見なので、負担増になりすぎない手法などについてどうやって解消していくか、実態を把握したうえで解決していきたい。

町民活動支援センターで、町内会での事務の一部を手伝える仕組みを現在整えているので、町内会と

してはそちらを活用してもらいたい。

役員のなり手が少ない中で、パソコン操作ができる若い世代に負担が向いている話も聞いている。どちらかという次の世代にシフトチェンジできるような町内会の進め方をしていきたいが、加入率が上がらない。町としてそれらをどうやって解決していくかというのが課題と捉えている。

【ご意見⑭】

芽室町でも出産お祝い金制度を取り入れてほしい。

【手島町長】

子育てのサービスは、時代に応じで変えていかなければならない。人口が全国的に減っているが、子育て支援に力を入れるのは絶対に必要なことだと思っている。今までの制度の中にも、ある程度役割を果たしたのものもあると思う。町は限られた財源のなかで、出産・育児のものにどうやって配分していくのか考えていかなければならない。出産のお祝い金というのも一つだが、育児期間中になにか給付できることがないかということも総合的に考えなければならない。今一度、ニーズにあったマッチングをきちんと整理する必要がある。

また、お金の給付だけではなく、企業によって育児休暇の状況に差がある。比較的規模の小さいところにも制度の浸透を図っていくことや復職できる仕組みを働きかけることも行政の役割と思っている。

【ご意見⑮】

健康プラザと子育て支援センターのあいだの駐車場のコンディションが良くない。なんとかしてほしい。

【手島町長】

あの場所は数少ない公共用地の広めの土地である。今は、駐車場としての用途での使用が多い。地域貢献として建設業者に砂利を入れてもらったり、グ

レーダーをかけたりしてもらっているが、水もたまりやすく、環境は良くないというのは認識している。

今後は、あの土地を、公共施設の配置のなかでどうやって使っていくかを検討していかなければならない。何かを建てるのか、あるいは駐車場として舗装できちんと整備するのか、そのへんをこれから考えていきたい。

町長からの終わりのあいさつ

オンラインなので、皆さんがどのような環境や雰囲気視聴されているか分からないが、顔を合わせなくても意見を言える場は大事と考えている。今回、皆さんから頂いた意見でハツとするものも多々あった。意見を聴いただけで終わりということではなく、なにか政策的なものに反映していくということをしっかり考えていきたい。

今後もいろんな機会で、ご意見や生活で困っていることを伝える場としてもらえたらと思う。特に課題と思えることは、きちんと検討し、その結果、たとえできないという結論となっても、それも広報などでしっかり報告していきたいと思う。今日は、本当に素晴らしい意見をたくさんいただき感謝を申し上げる。

11時30分終了

